

◆ 2023 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：こうぬま・水と緑を楽しむ会

26A-18

代表者：代表 鈴木 清史

URL : <https://ameblo.jp/kounuma123mizutomidori/>

1. 活動が必要とされた状況

2006年3月開設以来、さいたま市民に憩いの場として親しまれてきた河童の森ですが、利用者の増加により、従来以上に安全確保のための森の整備保全が必要となってきました。掲示板の木製部分が腐り、子供が近づくと危険もあるため、修理が必要になりました。また、河童の森の歩道を整備することにより、歩道を歩いてもらい、水辺や伐採した枝が積んである所など、危険な箇所に行かないような手立てが必要となりました。河童の森を知っていただくために、イベントで資料を配布し、掲示板・ブログ等でPRしています。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

定例会：毎月第1、3日曜日に開催し、第1日曜日は近くの自治会さんと河童の森近辺でゴミ拾いを行っています。定例会の参加人数は6名から10名くらいです。

3月から9月にかけては「生きものさがし」という河童の森で虫を探すとという小イベントを毎月開催し、毎回10~25家族の参加があります。7月には夕方からの開催になりましたが「セミの羽化を見てみよう！」というイベントを行い、初めてみるセミの羽化に子供たちの歓声が上がりました。

4月には掲示板修理が完成し、安心してPRできるようになりました。

また、同じ4月には河童の森内に柵で小路を作り、できるだけそこを通るようにしました。11月には小路に竹チップを搬入し張り出した根が隠れるようになり、安全に通れるようになりました。同月には恒例の高沼用水ウオーキング（南回り2時間半コース）を実施しました。掲示板の告知ポスターを見て参加された方もいらっしゃいました。



3. 活動の成果

河童の森の南側を通る道場三室線の歩道から河童の森へ入る方が増えてきました。整備した小路がいい散歩道になっているようです。また、掲示板が綺麗になり、掲示物もシンプルにしたせいか、それを見て参加したり、質問されたりする方も増えてきました。

4. 今後に残された課題

若干ではありますが会員も増え、参加人数も増えてきています。ただし、会員の高齢化とともに夏場の活動が厳しくなり、夏場は月2回に減らして体力を消耗しないようにしています。欲を言えば若い会員が欲しいところです。河童の森の脇を流れる高沼用水西縁の上流部には自然型の河童ぶち公園が整備され、令和6年3月中旬に完成予定です。会の活動を通じてその公園と河童の森をつなげ幅広い自然エリアにしていきたいと考えています。